

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永宇岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/
07_Alumni_association



会長 早野憲一郎

同窓会会員の皆さまには、日ごろから同窓会ならびに母校に対して多大なるご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの流行から3年、まだ様々な制限や不安はありますが、徐々に以前のような生活を取り戻しつつあると感じます。このようなことを繰り返しながら新しい社会になってゆくのでしょうか。

この新型コロナウイルスの流行は私たちの生活を大きく変え、「人と会うこと」が特別なことになりました。大切な人に会えること、仲間と食事ができること、出張に行けること、すべてが当たり前ではなかったと感じた人も多いのではないのでしょうか。少しずつ人と会う機会が増えてきたからこそ、人との

向き合い方について考えてみたいと思います。

令和4年(2022年)、茶人・

千利休は生誕500年を迎えます。茶の湯の歴史は長く、日本文化の代表として世界中で知られています。お茶の精神「和敬清寂(わけいせいじゃく)」という禅語にはすべてのお茶の心がこめられていると言われています。

「和」とは、お互いに心を開き、心を通わせること。「敬」とは、互いに敬いあうこと。「清」とは、目に見えるものだけが清らかというわけではなく、心の中も清らかであるということ。「寂」とは、どんなときも動じない心。

それぞれの文字の意味を知るとお茶のみならず私たちの普段の生活にも大切な精神であるように感じます。面と向かって会うことが特別なことだと気づいた今こそ改めて「和敬清寂」の精神で人と向き合ってみませんか。

社会の変化に伴い、私たちも変化しました。オンラインで人と話をするのが当たり前になり、そ

れに慣れる日が来るとは想像もしていませんでした。距離のある相手とも、効率よく話ができる点は素晴らしいと思いますが、画面越しの感情をくみ取る難しさがあるのも確かです。会って話したら不安が解消したということもよくあることです。会えることのうれしさを改めて感じた人も多いでしょう。

顔を見て会うことができる時間はかけがえのないものだと思った今だからこそ、人と会う時間を、そして人を大切にすることを意識したいと思います。

年齢、性別、国籍にかかわらずすべての人に対して「和敬清寂」の心で接することができたなら、これまでよりもっとその人のことが見え、その人を分かつとすることはできないでしょうか。相手のことを知り、理解しようとするのがお互いの距離を縮め、自然と「和敬清寂」の精神に近づいていくように感じます。そして、「また会いたい」そんな風に思ってもらえる自分でいたいものです。

最後になりましたが、会員の皆さまの今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、南高校同窓会のさらなる発展に向けて、ご支援ならびにご協力をお願い申し上げます、ご挨拶いたします。



学校長 梅原浩一

ご挨拶

同窓会の皆様には日頃から母校の教育活動に深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。本校は地域の方々の熱い思いを受けて昭和三四年に創立され、本年度で六四年目を迎えます。

昨年度は昭和四四年に竣工され、全国高校総体や三重国体の競技会場としても使用されたプールを駐車場に整備する工事を行いました。水泳部で汗を流された皆様にとっては、一抹の寂しさを感じる方もお見えかもしれませんが、ご理解をお願い致します。

さて、私は昨年度の卒業式でクランク博士の「少年よ大志を抱け」という言葉を卒業生に贈りました。明治九年に日本政府からの強い要請に応じ、札幌農学校の初代教頭として来日したクランク博士は、日本の復興と若者たちのために情熱的な指導を行ったことで知られています。「少年よ大志を抱け」は、博士がアメリカへ帰国する際に残

した言葉ですが、武家社会から近代国家へと変革する新しい時代を担う若者に対し、「大きな志を持つて新しい時代を創り、自分たちの描く大きな夢を、実現させていきなさい」と伝えたかったのだと思います。私もまた、『平成』から『令和』となる年に入学し、高校生活の大半を新型コロナウイルス感染症と共に過ごした卒業生だからこそ、当たり前のことが当たり前でなくなる時代、加速度的に変化する未踏の時代を、たくましく生き抜いてほしいという思いを込めて、「少年よ大志を抱け」という言葉を贈りました。

振り返れば、終戦後の荒廃から経済成長を遂げようとする時期に創設された本校では、新しい時代を担う若者を育てる教育が求められ、草創期から「豊かな人間性を育み、開拓者精神を培う」教育が実践されてきました。これは「少年よ大志を抱け」に込められたクランク博士の思いに相通ずるものだと思います。時は変われど新しい時代を担う若者を育てる学校の役割は不易であり、本校では今後も「開拓者精神」を大切にしたい教育を目指していきたいと思えます。

最後となりましたが、同窓会の益々のご隆盛と、会員の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念致します。ご挨拶とさせていただきます。

令和3年度三重県立四日市南高等学校同窓会決算報告

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

1. 〈前年度繰越金〉

22,705,754円

2. 〈収入の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
入会金	638,000	636,000	△2,000	R2年度卒業生 2,000円×318人
初回会報代払込金	638,000	636,000	△2,000	R2年度卒業生 250円×8年分×318人
同窓会懇親会費			0	
会報協力金	1,000,000	1,473,971	473,971	会報・名簿販売収入587件
雑収入	1,000	219	△781	預金利息
収入計	2,277,000	2,746,190	469,190	

3. 〈支出の部〉

(単位：円)

科目	本年度予算額	決算額	差引残高	備考
行事費	0	0	0	
会議費	20,000	0	20,000	
慶弔費	20,000	0	20,000	
旅費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
会報費	450,000	443,300	6,700	同窓会会報代(第52号) 18,000部
通信運搬費	1,530,000	1,475,185	54,815	会報郵送代(第52号) 17,452通
手数料	3,000	4,730	△1,730	振込手数料
委託料	66,000	66,000	0	会計業務委託料
分担金及び寄付 ※教育活動振興費含む	300,000	248,060	51,940	卒業記念品(印鑑等¥47,700)、 全国大会出場寄付(¥5,000)、 ※教育活動振興費(¥195,360)を含む
報償費	0	31,288	△31,288	OB講演会(3名)報償費+旅費
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	
予備費			0	
支出計	2,489,000	2,368,563	120,437	
収支差額	△212,000	377,627	348,753	
計	2,277,000	2,746,190	469,190	

監査報告

1 〈前年度繰越金〉	22,705,754 円
2 〈収入の部〉	2,746,190 円
3 〈支出の部〉	2,368,563 円
計	23,083,381 円
70周年積立金	300,000 円
【残高内訳】	
普通預金	1,164,820 円
通常貯金	1,658,860 円
定期預金	11,865,904 円
定額貯金	8,689,000 円
郵便振替口座	4,797 円
計	23,383,381 円
通常預金のうち300,000円は70周年積立金	

上記の令和3年度決算報告について、会計帳簿及び証拠書類等について監査を実施しました結果、適正かつ正確に執行されているものと認めます。

令和4年6月20日
三重県立四日市南高等学校同窓会
監事 石山 純

令和3年度同窓会予算、「教育活動振興費」より、195,360円を第1演習室の会議用机購入費に充てさせていただきました。

令和4年度三重県立四日市南高等学校同窓会予算（案）

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

1. 〈前年度繰越金〉

23,083,381円

2. 〈収入の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
入会金	622,000	638,000	△16,000	R4年度卒業生 2,000円×311人
初回会報代払込金	622,000	638,000	△16,000	R4年度卒業生 2,000円×311人
懇親会費	0	0	0	
会報協力金 ※	100,000	1,000,000	△900,000	郵便振替口座から資金移動及び名簿販売等
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息（定額預金満期利息含む）
収入合計	1,345,000	2,277,000	△932,000	

3. 〈支出の部〉

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
行事費	0	0	0	総会 懇親会 講師御礼
会議費	20,000	20,000	0	役員会
慶弔費	20,000	20,000	0	同窓会担当職員転勤等餞別等
旅費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
会報費	350,000	450,000	△100,000	同窓会会報代
通信運搬費	200,000	1,530,000	△1,330,000	会報郵送代、諸経費
手数料	5,000	3,000	2,000	振込手数料
委託料	66,000	66,000	0	業務委託料（会計業務）
卒業記念品他	400,000	300,000	100,000	卒業記念品、全国大会出場寄付金等
報償費	50,000	0	50,000	
70周年関係積立金	100,000	100,000	0	年度積立額（4年目）
予備費	100,000		100,000	
支出合計	1,311,000	2,489,000	△1,178,000	
収支差額	34,000	△212,000		

1 〈前年度繰越金〉	23,083,381円
2 〈収入の部〉	1,345,000円
3 〈支出の部〉	△1,311,000円
予算 計〈残高〉	23,117,381円

項目間の流用等を役員会に委任する。

「令和4年度 同窓会定時総会」の中止により、予定されておりました報告事項「令和3年度決算報告及び監査報告」並びに審議事項「令和4年度予算（案）」の資料を掲載いたしました。御質問等ございましたら、次のメールアドレス宛、令和4年8月31日（水）までにお寄せください。hsyokk-dousou@mxs.mie-c.ed.jp
尚、同じものが四日市南高校同窓会ホームページ
http://www.mie-c.ed.jp/hsyokk/07_Alumni_association/index.html にもアップされております。

OB Lecture OB講演会

1年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

令和4年7月6日

株式会社O・G・E 代表取締役

杉山 豊氏 (31期)

「好きな事、出来る事、やりた
い事を仕事にする」南高卒で良か
った」という演題で話していた
だきました。小中学校から南高
大学時代、その後、会社員から起
業へと、数多くの失敗や挫折を経
験しながら、人との繋がりによっ
てチャンスを得たことについて話
されました。「つなぐこと」「地域
社会への貢献」を目標に掲げ、3
つのJ：情熱(何のためにやって
いるか)・情報(取捨選択)・浄化(凹
んだ時にどうやって戻るか)を大
切にしているとのこと。また、
「勉強すること」の意義について
もわかりやすく話してくださいま
した。勉強することで、①学校が
選べる②職業選択の幅が広がる③
付き合う友達が変わる(増える)、
そして世界が広がる!と教えてい
ただきました。

三重県桑名保健所衛生指導課 水産技師竹内泰介氏 (31期)

大学・民間企業・行政機関にお
ける研究者の違いや、技術系公務
員としての水産技師の仕事につい
て、具体的なお話を交えて講演し
ていただきました。大企業と海女

いなどを通して、のちの人生に影
響を与える多くの体験をされまし
た。また、帰国後には学校の教員
や農業ベンチャー企業の社員を経
て、現在は自営で農業をされてい
ます。このような多くの経験から、
一見して関係がないと思われるこ
ともその多くが繋がっているこ
と、見て聞いて分かった気になる
だけではなく実際にやってみるこ
と、そして、出会う人誰もが自分
の先生であるということなどを生
徒たちに向けて語ってくださいま
した。

Casa株式会社 デザイナー・コーディネーター

館 杏南氏 (44期)

『勉強は苦手だった学生時代、
何か一つをモットーに手に職をつ
けていく。』と題して、お話を
いただきました。宮沢賢治の「よく見
聞きし、わかり、そしてわすれず」
という言葉を大切に、お客様の希
望や理想をしっかりと聞き「波み
取り力」に「想像力」をプラスす
ることで、今の「提案力」が発揮
できていると話されました。学生
時代、勉強は苦手でしたが、仕事
で必要となれば頭に入ってくるし、
今はYouTubeなどの動画で
わかりやすい解説もたくさんあり
ます。ただ、ネットの情報は間違
いも多く取捨選択が必要になって
くるので、必ず本に戻って確認す

ることも必要だと、高校生に向け
ての注意点も話されました。現在
は、そうしたツールをうまく使っ
て勉強し、一度は挫折した「建築
士」の資格取得に向けて自身も頑
張っている、とお話してください
ました。

株式会社鳥羽水族館飼育研究部 伊藤実穂氏 (50期)

今回は「学生生活の思い出」「水
族館の役割と飼育係の仕事」「好
きなことを仕事にするために」の
3点についてお話をいただきました
。高校時代の部活では目標に向
けて一生懸命努力をし、一生大切
にしたい友人達との出会いがあっ
たそうです。自分の夢を叶える大
きな後押しになった2人のキーパ
ーソンとの出会いも教えていただ
きました。身近な存在である水族
館は博物館としての立ち位置にあ
り、①種の保存②教育・環境③調
査・研究④レクリエーションの4
つの役割を担っているということ
を実際の活動や現在従事している

合同会社ユー・エス・ジエイ オペレーション部 植木浩一氏 (51期) 数理科学コース

「やりたいことを見つける方法」
と題して、その方法は、まず「自
分を知る」こと、次いで「自分の
好き」を見つけることだと話され
ました。「自分を知る」とは言い換
えると自分の心はどういったとき
に動くか、ということになります。
就職活動時には、0歳〜21歳くら
いまで心が動いた年表みたいなの
を作ったそうです。



伊藤実穂氏

植木さんは、高校時代を振り返
って、毎日が授業とサッカー部の
活動だけで過ぎていきましたが
「時間の使い方」「努力すること
の大切さ」の2つを学んだと語ら
れました。自分の好きを見つけれ
ることは、自分を知ることの延長に
あり、やりたいことを見つける方
法の本質です。多くの経験と考察
からきつと何か傾向が見えてくる
はず。ぜひ、自分の好きを見
つけてください、と締めくくられ
ました。

三十三銀行

清水大地氏 (54期)

清水さんは現在取引先課にご勤務されており、証券外務員一種、フィナンシャルプランナー3級などさまざまな資格を取得されています。最初にご自身の学生時代について、高校3年間の経験や学力がどのように推移していたか、部活動をどのように取り組んできたかなどをお話いただきました。また、自分の進路選択をどのように決めていったかなどこれからの1年生が向き合うべき課題について具体的に話していただきました。後半では今の円相場について円高と円安を銀行員の目線からみた話や、自分の人生の中でどれくらいのお金を稼いでどれくらいのお金を支払っていくのかなどライフプランを自分で作成するゲームなどを通して、生徒1人1人に自分の人生について考えられる機会を作っていました。



清水大地氏

Teaching Practice 教育実習

今年も教育実習が行われました。58期生の方々に感想をお聞きしました。

小山早句良(家庭) 第58期生

教育実習を通して、授業準備にこれほど時間がかかるということに驚きました。楽しく理解してもらえらるにはどのように工夫をすればよいのか、普段の生活に少しでも授業の内容を反映してもらえないようにすればよいのかを、試行錯誤しながら授業を準備しました。授業後に「今日の家庭科楽しかったです。」と言ってもらえた時はとても嬉しく、教師としてのやりがいや楽しさを実感しました。この3週間ご指導いただいた先生方、仲良くしてくれた生徒の皆さんには感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

赤塚冬桃(物理) 第58期生

教育実習で母校を訪問し、自分が生徒だったときには見ることもなかった先生方の授業や生徒との関わりに対する考え方や工夫、逆に生徒の頃から感じることでできた先生方の魅力を改めて目にする事ができ、私もこの人たちのような教員になりたいと思う気持ちがとても強くなりました。また、

明るく元気な生徒たちと触れ合うことができ、懐かしさを感じるとともにたくさんのパワーをもらうことができました。このような経験ができたことに喜びと感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございました。

川上詩乃(音楽) 第58期生

教育実習を通して、人に伝える力の大切さを身にしみて感じました。専門に学んできた知識を、高校の授業という枠の中で伝えることは難しいと感じることは多かったです。しかし、生徒が反応してくれたり、演奏で表してくれたりした時の喜びは心地よく、教師として生徒に伝えることの魅力を強く感じられました。

大切な母校で、充実した三週間を過ごせたことを誇りに思うとともに、ご指導くださった先生方、そして生徒の皆さんに、心から感謝申し上げます。

竹原 諒(生物) 第58期生

教育実習の感想は、「楽しかった」の一言に尽きます。可能ならば、もう一週間居たいと思えるほどでした。とはいえ、実習は楽なものではなく、慣れない環境による疲労、授業への不安、クラスに馴染めないという苦労がありました。しかし、クラス旗

の作成や体育祭の練習など、小さな出来事が積み重なり、実習生活を振り返ると、それらに勝る幸せな時間であったと感じます。このような貴重な体験をさせてくださった、教職員の方々に改めて感謝申し上げます。

都竹陽貴(数学) 第58期生

大学で教科指導の方法や模擬授業を行って、教育実習に臨みましたが、実際に教壇に立つて授業を行うと、想定通りに授業を進めることができなかつたり、緊張で説明する内容を論理的に伝えることができなかつたりと、自分の実力不足を改めて感じました。しかし、教科担当や他の先生方から改善点やアドバイスをいただき、それらを次回の授業に取り入れることができました。

この教育実習での経験を活かして、生徒が数学を好きになつてくれるような授業を行うことができ、教師を目指していきます。

副島綾乃(国語) 第58期生

今回の実習を通して「私は、地元・三重県で、高校の教員をした

いんだ」という想いを確信することが出来ました。それはほかでもない、母校・四日市南高校で実習させていただけだからです。

用意周到に臨んだはずの授業が、教壇に立つて生徒を前にすると思ひ通りにいかず、授業をすることの難しさを身を持って感じた2週間でした。そして、そんな時は、同じ実習生とは思えぬ程に頼もしく、常に前向きな仲間の姿に刺激を貰い、厳しくも愛のある先生方のご助言に励まされ、最後まで走り切ることが出来ました。本当に有難うございました。



これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

躍進する部活動

サッカー部

男子サッカー部・女子サッカー部として、それぞれ活動しています。部員数は、男女を合わせると82名になります。

時間・場所が限られた中でも工夫し、全員が「できるようなった」「成長できた」と実感できるような取り組みを目指しています。そのため「自主性」と「責任感」を持って活動しています。

ソフトテニス部

今年度は、男女17名の新人部員を迎え、現在29名で活動しています。感染対策の観点から、平日は全員での練習が難しく、限られた時間で効率良く練習できるよう工夫して取り組んでいます。部活動を通じて、仲間との絆や感謝の心を養いつつ、県大会団体戦ベスト16という目標を達成できるように日々練習に励んでいます。ご支援よろしくお願いたします。

バスケットボール部

今年度は男子部19名、女子部23名で活動しています。男子は県総体北地区予選で6位となり、県大会への出場を果たしました。女子

は県大会出場とは成りませんが、男女とも、技術力の向上だけでなく、自分たちでチームの課題に気づき、改善していける力身に付けることを目標に練習に取り組んでいます。

バドミントン部

五月、感染症対策を行いながら、無事に県総体を終えることができました。三年生が引退し、男女合わせて四十六名の新人部員を迎え、計七十一名で新体制がスタートしたところです。

ほとんどの部員が未経験ながら、日々練習やトレーニングを頑張っています。二年生は一年間培ってきた技術を一年生に教える形で新しいチームづくりに励んで行きたいと思えます。

バレー部

4月に新たな新人部員を迎え、今年度は男子部24人、女子部34人で活動しています。限られた練習時間の中で「頭を使ったバレーボール」をテーマに、楽しく練習に励んでいます。県総体では男女ともに初戦で惜敗でしたが、次の大会ではさらに一段上の結果を残せるよう頑張っており、今後とも

もご支援よろしくお願いたします。

ハンドボール部

現在部員は、男子29名、女子37名、計66名で活動をしています。限られた時間と場所効率よく質の高い練習をきびきびと行い、なおかつ元気よく声を出して楽しんでプレーすることを心がけています。3年生男子は選抜予選大会と県総体で4位になり2大会で「最終日まで残る」という目標を達成できました。女子は選抜予選大会と県総体で5位という結果を残せました。

新チーム男子は「東海大会出場」女子は「ベスト4以上」を目標に、目指す「走れる進学校」を体現できるように頑張っています。観ている人たちに感動してもらえ、試合ができるよう努力し、成長していきたいと思えます。

ワンダーフォーゲル部

現在は、2年部員2名で活動しています。引退した3年部員の思いを受け継ぎながら、今後も部員勧誘に努め、来年度の県総体に向け、再起を図りたいと考えています。変らぬご支援の程よろしくお願いたします。

囲碁・将棋部

現在部員は、3年生男子1名、

1年生男子4名、女子3名の計8名で活動をしています。新人部員が入り、本クラブも練習に熱を帯びています。8月には1年生女子1名が全国大会へ出場します。これを励みに部員一同、公式大会や棋力認定大会に向けて、日々棋力の向上に取り組んでいます。

演劇部

今年度は二名の新人部員を迎え、上級生と併せて八名で活動しています。日々の熱のこもった稽古で部員各人の持ち味を醸し出すようになってきています。

今年も三重県高等学校演劇大会北勢地区大会での上位入賞を目指すとともに、伝説のアトリエ公演復活にも取り組んでいこうと考えています。今後とも演劇部へのご支援をお願い申し上げます。

音楽部

新人部員を迎え、明るく元気な音楽部がスタート、合唱祭では美しく伸びやかな演奏ができました。今年も目指すは上位大会進出。難解な外国曲にもチャレンジしていきます。主力の3年生は受験生。全員揃った練習が難しいのですが、南高の底力を出すべく、高温多湿のプレハブで汗にまみれて練習に励んでいます。また、今年の三重音楽祭では、2年ぶりにオーケス

トラとの競演でベートーベンの第九演奏会が開催されます。こちら楽しみます。

家庭部

家庭部は、コロナ禍で活動に制限がかかる中、新入生4名を迎えてスタートしました。今までは、調理中心に行っていましたが、今年度は手芸(パレッタやシュシユ等)にもチャレンジしています。

今後は、コロナ禍でも簡単にできる持ち帰りのお菓子を中心に、自分達で季節ごとにメニューを検討し、実習を行っていきたくと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

剣道部

剣道部は現在、1年生女子7名と2年生男子1名を新たに迎え、男子6名女子9名、合わせて15名となりました。今年の春季大会は1年生と2年生で女子団体を久しぶりに組むことができました。県総体では女子団体戦で1本差での敗退となりましたが次鋒と副将を欠いての出場である事を思えばよく健闘したと思っています。3年生は気持ちを入れ替えてそれぞれの新たな目標に向かっていきます。1年生を迎えて2年生もやる気を出して夏の大会に向けて日々励まし合っています。これからも頑張

つていきますので応援をよろしく
お願い致します。

硬式テニス部

テニス部は現在男子24名、女子
9名の計33名で活動しております。
練習時間や活動場所に限りがある
中、上位入賞を目標に努力を続け
ていきます。今後ともご支援よろ
しくお願いします。

硬式野球部

「意志あるところに道は拓ける」
という理念のもとに、甲子園初出
場という目標を掲げ、本気で活動
しています。「どうせ」「でも」では
なく「もしかしたら」という思考
を習慣化することで、自分自身の
可能性が広がっていくと信じてい
ます。私たちにしかできない、私
たちならできる。ご支援よろしく
お願いいたします。

自然科学部

今年度は三年生六人、二年生六
人、一年生二人の計十三人で活動
しています。休日に海や川などで
生物を採集し、飼育・観察・繁殖
しています。昨年度から取り組ん
でいる根粒菌に関する研究では、
三重生物研究発表会において、三
重県知事賞を受賞しました。日々
研究を行うとともに、科学オリ
ピックや生物学オリンピックにも
積極的に参加しています。

柔道部

柔道部は現在3年生1名、2年
生3名、1年生2名とマネージャー
12名で活動しています。
コロナ禍で遠征などがままなら
ない状況の中での活動となってい
ますが、部員たちは少ないながら
も明るく意欲的に活動しています。
県総体では結果にはつながりませ
んでしたが、冬の新人戦につなげ
ていければと考えています。

吹奏楽部

昨夏のコンクールでは、9年ぶ
りとなる県代表となることができ
ました。また、3月27日に開催さ
れた第34回定期演奏会は、保護者
様十友人と枠をひろげ約400名の
人に観覧していただき、あわせて
ライブ配信も行いました。

今年も8月のコンクールや、令
和5年3月26日(日)四日市文化
会館にて開催予定の第35回定期
演奏会を目標に、練習に励んでい
くつもりです。今後とも、よろし
くお願いします。

卓球部

卓球部は、新入生15名を迎え、
2年10名、3年7名でスタートし
ました。6月に3年生を送る会を
行い、1、2年生は新たな気持ち
で練習メニューを考えるなど、積
極的に練習に取り組んでいます。
各自の目標達成に向け、目的意識
を持ち、自分達で練習の工夫がで
きる、自律したチームづくりを目
指していきたいと思えます。

茶道部

今年度は1年生6名、2年生8
名、3年生8名の計22名で、毎週
水曜日の放課後活動しています。
羽木千鶴子先生に表千家のお点前
をご指導頂いています。

例年、南高祭では立礼棚を用い
た茶席を設け、浴衣姿でおもてな
しをしています。今年こそは練習
成果を披露出来ますようにと願
いながら、和やかに前向きに稽古に
励んでいます。

電算無線部

電算無線部は、今年度、3年生

2名、2年生6名、1年生3名の
計11名で活動しています。毎週水
曜日に情報室に集まり、コンピ
ュータに関する自分たちが興味をも
ったことについて学習しており、
新入生に見せる部活動や学校行事
の紹介ビデオの作成や、ドロー
ンの操作練習なども行っています。

美術部

新入部員7名を加え、合計16名
で活動中。昨年はコロナ禍の間際
を縫い、三年ぶりに合宿を実施。
波切の大王荘で東京オリンピック
の開会式を見ることになりました。
本年度も同場所にて合宿制作を予
定しており、コロナ禍の収束を願
うばかり。夏期休業中には、南高
祭、みえ高文祭向けの大作を制作。
続いて北勢地区高校美術展等への
出品を予定しています。機会がご
ざいませら、ぜひ個性豊かな作品
をご高覧ください。

文芸部

3年生1名、2年生5名、1年
生6名の12名で活動をしています。
普段は、個々に創作活動を行い、
作品を通しての交流や部誌作成に
取り組む等、主体的に活動してい
ます。また、県内の文芸部員との
交流会や学習会に参加する等、校
外での活動にも積極的に参加して
います。今年度は東京で開催され

る全国高等学校総合文化祭に、「散
文」部門の三重県代表として参加
します。

陸上競技部

6月に3年生の多くが引退し、
現在は男女合わせて約20名の部員
で活動しています。部員数は少な
めですが、自己記録の更新や上位
大会出場を目指して意欲的に活動
しています。

箏曲部

この一年は女子選手の活躍が目
立ちました。5月末に開催された
県高校総体では、女子5000m
競歩において優勝し、見事東海大
会出場を果たしました。

現在部員は、3年生6名、2年
生7名、1年生10名の計23名で、
生田流正派大師範の森雅笙先生の
熱心なご指導の下、練習に励んで
います。

昨年度行われた「三重県高等学
校日本音楽演奏会(県大会)」にお
いて優勝し、今年7月31日から
行われる「全国高等学校総合文化
祭東京大会」に参加します。また、
8月6日(土)には、白山総合文
化センター(しらさぎホール)で
県大会が行われます。日頃の練習
の成果が発揮できるよう、頑張っ
て参ります。応援のほどよろしく
お願いいたします。



ご注意くださいー

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多く同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

進路状況

今年度卒業生の主な国立大学合格校は、難関大では、京都大(1)、大阪大(1)、名古屋大(10)、九州大(1)。ついでブロック大として筑波大(1)、横浜国立大(1)、千葉大(1)、金沢大(1)、名古屋工業大(8)、広島大(1)。比較的近場の地方国公立大では信州大(5)、静岡大(6)、愛知教育大(5)、岐阜大(3)、となつていきます。また、主な公立大学合格校は、岐阜薬科大(1)、名古屋市立大(8)、神戸市外語大(1)、大阪公立大(3)、京都府立大(1)、愛知県立大(2)、三重県立看護大(2)となつていきます。注目すべきは、三重大。強い地元志向で、文理合わせて、この10年で最大の47名の合格者を出しました。理系生徒は共通テスト600点台生徒を中心に、工学・生物資源・医学部看護・教育・数学・理科の合格者数は合わせて29名、文系生徒についても、人文・教育・幼児・英語・教育学に合わせて18名でした。

学部別の特徴では、「工学」の合格者比率が30.0%(昨年41.1% 1位)と最も高く、第2位に「教育」17.9%(昨年11.3%)が入り、例年の

本校の特徴と、順位の上では差異はありません。しかし、数字を見ると今年度独特の特徴が顕著に表れています。基本的に物理の履修が必須の「工学」の合格者比率は10ポイントと大きく下げた分、生物・化学での受験が可能な第2位の「教育(理系教科)」と、第3位「農林畜産・生物・生命・環境」10.7%(昨年9.2% 4位)が大きくポイントを上げています。文理の人数に例年と差異がない分、理系の中で選択科目の違いによって、志望学科が変動した様子が数字に表れています。

私立大学に比べて国公立大学は、教育、就職環境に優れているため多くの生徒が全国を視野に入れて出願を行っています。

今年度は、国公立延べ受験件数は31件減少して292件でしたが、現役合格件数140と3年連続で140を超えました。今年度合格率は47.9%と生徒はよく頑張りました。国公立合格者数は、県内進学校の中でも上位に位置しています。

私立4年制大学の延べ受験校数は1446校、受験者数は298名でした。平均併願校数は1446/298 ≒ 4.85校(昨年5.07校)と昨年

2022年度入試 大学等合格者数(過年度生判明分含む)

国立大学名	現役計	過年度	岐阜薬科	1	常葉	2	大阪経済	1
小樽商科	1		愛知県立	3	修文	2	大阪芸術	1
北海道		1	愛知県立芸術	1	名古屋学芸	16	関西	10
室蘭工業	1		名古屋市立	8	愛知	51	関西外国語	1
岩手		1	三重県立看護	2	愛知学院	25	近畿	17
筑波	1		滋賀県立	1	愛知医科	1	摂南	2
千葉	1		京都府立	1	愛知工業	15	関西学院	8
横浜国立	1		京都府立医科	1	愛知淑徳	26	甲南	
富山	1	1	大阪公立	3	金城学院	25	甲南女子	1
金沢	1		神戸市外国語	1	神戸山学園	11	神戸薬科	1
福井	1		兵庫県立	2	大同	20	畿央	1
信州	5		岡山県立	1	中京	138	奈良	1
静岡	6		県立広島	1	至学館	2	岡山理科	3
浜松医科		1	下関市立	1	中部	33	倉敷芸術科学	1
愛知教育	5		高知工科	1	同朋	1	福山	2
名古屋	10		公立大学計	29	名古屋外国語	13	崇城	1
名古屋工業	8		私立大学名	現役計	名古屋学院	12	私立大計	884
岐阜	3		獨協	1	名古屋経済	1	短期大学名	現役計
三重	47		千葉工業	1	藤田医科	17	三重大	1
滋賀	1		大妻女子	2	南山	79	愛知学院大短大部	1
京都	1		北里	1	日本福祉	14	名古屋短大	1
京都教育	1		共立女子	2	名城	157	短期大学計	3
京都工芸繊維	1		慶應義塾	2	東海学園	5	海外の大学名	現役計
大阪	1	2	芝浦工業	1	名古屋文理	1	国立清華大学	1
大阪教育	1		成蹊	2	愛知工科	1	国立台湾大学	1
奈良教育	1		中央	1	愛知東邦	2	海外の大学計	2
鳥取	1		東海	2	皇學館	33	専門学校・各種学校等	現役計
広島	1		東京工科	1	鈴鹿医療科学	19	水産大学校	1
徳島	1		東京農業	1	鈴鹿	1	名古屋製菓専門学校	1
愛媛	1		東京理科	3	四日市看護医療	11	名古屋デザイナー学院	1
高知	3		日本	3	長浜バイオ	11	東海工業専門学校金山校	1
九州	1		法政	3	京都産業	5	電波学園	1
九州工業	1		東京都市	1	京都女子	3	名古屋経済短期大学	1
鹿児島	2		明治	3	京都芸術	2	専門学校セントラルトリミングアカデミー	1
琉球	1		早稲田	1	京都橘	1	日本外国語専門学校	1
国立大学計	111	6	神奈川	1	同志社	13	中日美容専門学校	1
公立大学名	現役計	過年度	帝京科学	1	同志社女子	2	名古屋ECO動物海洋専門学校	1
三条市立		1	清泉女学院	2	立命館	26	専門学校・各種学校等計	10
都留文科	1		岐阜聖徳学園	3	龍谷	3		0

度507校より微減、一昨年度632校より一人あたり約15校の大幅減でした。受験形態別にみると、一般入試型の受験数は延べ917校(昨年延べ972校)と55校の減。共通テス

ト利用型の受験数は延べ343校(昨年354)と11校の減。延べ受験校数1446校中何らかの形で共通テストを利用してはいるものは、508校、35.1%と高い割合を示しています。

各大学が共通テストを利用した受験方式や併願パターンを多様化させており、受験料の割引や、減額制度も拡大させています。受験述べ1446校中の総合格

数は85校であり、合格率は85 / 1446 = 61.2%でした。昨年の合格率は60.4%、一昨年の合格率は45.0%、その前年は34.3%であり、私立大学が年ごとに確実に易化しています。全合格率に占める学部別の割合を見ると、「工学」が24%と第1位。続く第2位「文学・言語・地歴・国際・文化・心理」(20.6%)、第3位「経済・経営・商」(13.8%)までは例年通りでした。今年度の特徴としては、第4位「医・歯・薬・看護・医療」(8.8%)であり、全国的に人気となった資格のとれる医療系に本校でも人気上昇の傾向がみられました。第5位6位7位については「理」(6.4%)「法・政治」(5.9%)「農」(5.8%)が続きます。理系のこれまでの圧倒的工学部人気から少し様子を変え、理学部や農学部に人が流れています。

合格率の最も多かった「工学」系の大学別合格率を見てみると、第1位、2位は、昨年と同じく名城大85(昨年64)、中京大41(昨年30)、以下、大同大14(昨年27)、中部大12(昨年27)と中部圏の大学が続きます。以下、関西圏の人氣校の中では唯一、立命館大10(昨年20)が第5位に。続いて南山大9(昨年8)と私大易化の傾向とともに強い地元志向が見られました。

次に「文学・言語・地歴・国際・

文化・心理」系の大学別合格率を見てみます。先述にもありますが強い地元志向が顕著に表れ、第1位は南山大37(昨年25)、第2位皇學館大31(昨年11)。ついで中京大24(昨年35)、愛知淑徳大16(昨年9)、愛知大13(昨年9)と続き、関西圏の大学については5件以上の合格数が出ている大学は、ありません。

学部を問わずに大学別の受験件数(1人が同じ大学を複数受けている場合も全て数える)をみると、名城大273件(昨年234)がトップ。2位が中京大256件(昨年205)3位に南山大が127件(昨年111)、4位には愛知大75(昨年72)が続きました。通学圏内でない大学については、立命館大で8減、近畿大10減、同志社大13減と大幅減。金沢工業大、関西学院大は、ランキング外となりました。

私立四大の可否結果は、当然受験者の学力層の志望者動向をそのまま反映します。しかし、各模試における志望者動向の緻密な分析、自分の得意不得意に応じた傾斜配点や共通テスト利用などの入試方式選択、早期からの徹底した過去問対策の三つを真剣におこない、最後まで粘り強く受験する姿勢が志望大学合格のためにはさらに重要になってきます。

(進路指導部 川崎千佳子)

先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

鈴木正司 先生



いつごろ南高校で勤務されましたか。

平成17年4月に赴任し15年間お世話になりました。学年では、第2学年、第3学年の担任や学年主任を、分掌では進路指導部に所属していました。部活動では、ソフトテニス部を担当し、自分の母校で早朝から遅くまで、楽しく充実した時間を過ごすことができました。

現在の勤め先、近況についてお聞かせください。

現在は再任用として桑名工業高校に勤務し、3年目を迎えます。担任を2年間、今年度は進路指導部に所属しています。部活動も昨年度からソフトテニス部を担当しています。健康維持のために、一日4000歩以上を歩くことを心

がけています。南高時代の印象に残っていることは何ですか。

体育祭や南高祭に取り組む熱い姿勢、これに尽きると思います。保健所から規制強化される前に提供していた凝った飲食メニューやお化け屋敷などは素晴らしいものでした。その熱意が各自の進路志



望実現へのエネルギーへと変化していくものと信じて、微力ながら応援していました。南高及び、南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

南高生としての誇りを胸に今後の人生を切り拓き、謙虚で社会に貢献できる人になってください。



